

純粹であることは罪ですか。

アルテミシア

17世紀のローマ、わずか17才で、奔放に、大胆に、官能的に、欲望のおもむくままに愛と芸術に生きた伝説の女流画家アルテミシア

17世紀、ローマ。バロック美術が花盛りの一方、人々は、とりわけ女性は封建的な制度に縛られていた。そんな時代に、わずか17才にして、奔放に、大胆に、官能的に、欲望のおもむくままに、愛と芸術に生きた女性がいた。それは伝説の美貌の天才女流画家アルテミシア。その知られざる波瀾万丈の生涯、そしてその想像をこえた創作の秘密が400年の時を超えて、いま鮮やかに甦る。



恋人と引き裂かれ、レイプ裁判の屈辱を経てすべてを捨てて絵の道を選んだ

親の決めた結婚まで、修道女として厳格な日々を送るアルテミシア。しかしその絵画への激しい情熱によって、ついに父の許しを得る。その天性の才能はたちどころに開花し、著名な画家アゴスティーノへの弟子入りするまでになった。それは二人にとって運命的な出会いだった。彼女は彼のもとで芸術の修業をしながら、無意識のうちに愛と性欲を発見する。それが彼女を変えることになる。官能をテーマにするによって絵画に豊饒な感情表現を実現させてゆく。

アゴスティーノは次第に、自分のやり方を信じ純粋なアルテミシア

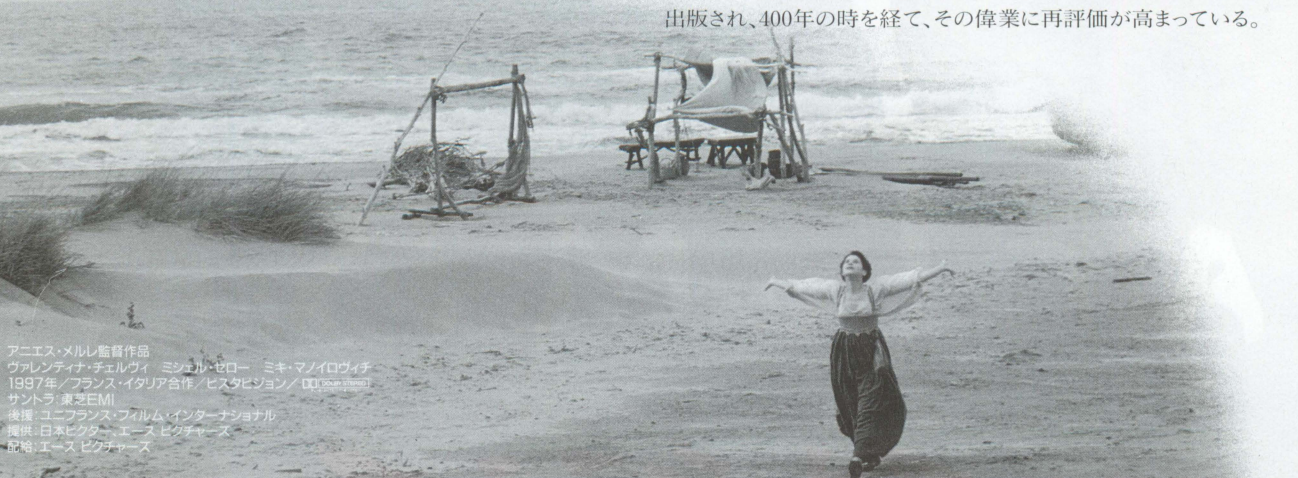
にひかれていく。正式な結婚ではなくとも、愛する事を恐れないアルテミシア。しかし、アゴスティーノは、アルテミシアの父からレイプの汚名を着せられ、恋人たちは社会的に不条理な掟に引き裂かれていく。しかも、彼女のあまりにも官能的でかつ激しい、強い表現力を秘めた絵画は裁判の過程で批判される。拷問され、恋人を失い、精神的に屈辱を受けたアルテミシアだった。しかし、そうした哀しみ、痛みは、アルテミシアの芸術に豊かな表現を生み出し、“画家として初めて認められた女性”としてすばらしい名声を築くことになる。

美貌の新星ヴァレンティナ・チェルヴィ バロック美術の再現に目を見張る映像美の連続

伝説のアルテミシアに挑むのは、美貌の新人女優ヴァレンティナ・チェルヴィ。ジュン・カンピオン監督『ある貴婦人の肖像』での轟動的な演技で世界中で注目されている。映画一家の生まれ、伊仏英語の堪能な国際派でもある。共演は『アンダーグラウンド』のミキ・マノイロヴィチ、『とまどい』のミシェル・セローと実力派が脇を固める。またもうひとつの主役は17世紀バロック美術の完璧な再現。美術学校出身の若き女流監督アニエス・メルレらは、カラヴァッジオの流れをくむ光と影の世界を、忠実な時代考証により甦らせ、目を見張る映像美を堪能させてくれる。アルテミシアは、1989年初めてローマで大規模な回顧展が開催され、同時にアメリカで初の研究書が出版され、400年の時を経て、その偉業に再評価が高まっている。



UN FILM DE
AGNÈS MERLE
Artemisia



アニエス・メルレ監督作品
ヴァレンティナ・チェルヴィ ミシェル・セロー ミキ・マノイロヴィチ
1987年 / フランス・イタリア合作 / ヒスタビジョン / DD (Dolby Digital)
サントラ (東宝EMI)
後援: ユニフランス・フォルム・インターナショナル
提供: 日本ビクター・ユース・ビクター
配給: ユース・ビクター

今夏待望のロードショー!

(上映日程は劇場に
お問合せ下さい。)

前売鑑賞券絶賛発売中! 一般1,500円(当日一般 1,800円の処)

※チケットぴあ、ローソン、主要プレイガイド他にて発売中!

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(440)5977
梅田 ガーデンシネマ

(土日祝のみ10:10|12:20|2:30|4:40|6:50) (入替制)

